

帆船「日本丸」元船長が神戸・雲雀丘中学で出前授業

ふだん、海に接する機会の少ない子どもたちに、海や船のことを身近に感じてもらうと、平成30年5月18日、神戸市長田区の雲雀丘中学校において、帆船「日本丸」の元船長による出前授業を行いました。

出前授業では、講師を務めた帆船「日本丸」元船長（神戸運輸監理部 鵜山海事振興部長）が、中学生時代や船員を目指した理由など自身のことを交えながら、海や船の魅力・役割と神戸港の素晴らしさを伝えました。

担任の先生は、「神戸の子どもたちは、意外なほど海や港のことを知らない。もっと関心をもってもらいたいと思い、出前授業を依頼した。」と語っていました。

子どもたちからは、講師へ「一番苦しかったことは？」「なぜ航海士になったの？」などといった質問が交わされました。

○日時：平成30年5月18日（金） 13時25分～15時15分

○場所：神戸市立雲雀丘中学校 柔道室（神戸市長田区雲雀ヶ丘1丁目1番1号）

○参加者：2年生56名

○内容：みなと神戸で働くひと、神戸にやってくる船、船員の魅力 など

○講師：神戸運輸監理部 海事振興部長 鵜山 久

